

News Letter

ニュースレター

2023.11.0
Vol.2



SAPOSEN
ふくしま地域活動団体サポートセンター

CONTENTS

- P.2-3 Pick up NPO
・NPO法人 かけはし
・特定非営利活動法人 シャローム
- P.4-5 インターンシップ活動成果報告会・閉講式開催
これまでのチャレンジインターンシップ参加者 その後
- P.6 NPO法にかかる諸手続きの改正
- P.7 ・サボセン 講座予定
・インボイス制度
- P.8 ・スタッフのイチ押し!～中通り篇～
・助成金情報

令和4年度

「NPOと企業等のマッチング事業」

マッチング会 開催報告

令和4年11月15日から25日にかけて、NPOと企業等とのマッチング会を県内4会場で開催いたしました。マッチング会にはNPO、企業および地方振興局などから合わせて約60名が参加しました。



マッチング会は、NPOや企業の参加者がそれぞれの取組や連携・協働のアイデアなどを紹介し合い、続いて1対1で対話するという形式で行いました。各会場では熱のこもった対話が繰り広げられました。

弊センターでは、一つでも多くの連携が成立し、社会課題の解決や暮らしやすいまちづくり等が進むように、サポートしていきます。



喜多方市

NPO法人 かけはし

事務所兼
コワーキングスペースの
「かけはしスペース」



<https://kakehashi-kitakata.com/>



学びをつなぐ“かけはし”になる



福島県委託事業
FUKUSHIMA Next Creators
Challenge2022



キャンプでは
夏は川遊び、
冬は雪遊び!

NPO法人かけはしは、2020年2月に発足、同年4月から活動を開始した新進気鋭の団体です。代表の石島来太さんはもともと喜多方市の地域おこし協力隊として活動していた経験もあり、喜多方で何かできることはないかと考え「地域を変えるには人が変わらなくてはならない、そして人を変えるには学びが必要」という事に気づき、様々な形の学びの機会と環境の提供を始めました。

活動は、小・中学生を対象とした自然体験として夏・秋・冬にキャンプをしながら季節ごとの遊びができる「喜多方スマイリングキャンプ」や、「オンライン家庭教師つなぐ」など子ども向けの事業を行っています。

また、喜多方市で起業・創業を目指す方に対し学びの場を提供する「喜多方市創業支援セミナー」、起業・創業に向けたチャレンジショップとして利用できるレンタルスペースの無料貸出を行う創業支援サテライト「チャレンジステーションかけはし」など、子どもだけではなく大人に向けた学びの場も提供しています。

事務所に併設された「かけはしスペース」はコワーキングスペースとして無料で開放しています。

さらに、今年度は福島県主催「FUKUSHIMA Next Creators Challenge2022」事業の委託を受け、県内の中学生以上の学生を対象にしたデジタルアート作品展の運営・HPの管理等全般を請け負っています。

「以前働いていた場所では誰のために働いているのかわからないと感じる時があったけれど、今は利用者に直接『このサービスがあって良かった』と言ってもらえるのが嬉しい。顔の見える関係性を大事にして、これからも活動が続けていきたい。」と石島さんはお話してくださいました。

今後の目標として、学びの機会の提供という観点から「奨学金の提供」事業を始めたいと考えているとのこと。「お金の有無で学びの機会が阻まれることのない社会づくり」という、地域の子どものことを考えるその姿勢が、全国の未来ある若者たちを支える大きな柱となることでしょう。

かけはしが運営する事業・イベントなどは公式HP、SNSでも発信しています。皆さんもぜひチェックして参加してみたいかがでしょうか？

福島市

特定非営利活動法人 シャローム

まちなか夢工房
パンの良い香りに
誘われます



<http://www.nposhalom.net/>



「共生社会」の実現を目指して



みんなのせんべいと夢詰麦
どちらも大変美味!



ひまわり感謝祭 &
共に生きる仲間たちの
コンサートの様子

特定非営利活動法人シャロームは、1980年頃から任意団体として活動し、2001年にNPO法人格を取得した約40年以上続く団体です。立ち上げのきっかけは、障がいを持つ方が街中へ出てきても、休める場所がないと気づいたことから。商店街と連携して、障がい者のための「お休み処」づくりを展開しました。

その後2003年に福島市の委託を受け、「お休み処」に来ていた障がいを持つ方などが作る焼き立てのパンや全国の福祉施設の授産品を展示販売する「まちなか夢工房」をオープンしました。委託事業は2015年で終了しましたが、働く障がい当事者の熱意を受け一般社団法人シャローム福祉会へ移管し活動を継続しています。

また、事務所2階を会場に、2004年1月より毎月1回地域づくりのための教養講座を開催しており、多種多様な講師によるお話を聞くことができます。この講座の開催回数は2022年11月現在で223回目を迎えました。

東日本大震災と原発事故以降に始まった福島と全国をつなぐ「ひまわりプロジェクト」では、2022年現在264団体、個人199名の計463の栽培協力者の元でひまわりを栽培し、絆づくりを行っています。全国で咲いたひまわりから収

穫した種は福島に送られ、種から抽出した油は「ひまわり油『みんなの手』」になり、協力者の元へ届けられます。

11月19日(土)には今年度で第12回となる「ひまわり感謝祭」が開催され活動の報告が行われました。同時開催した第26回「共に生きる仲間たちのコンサート」では、プロジェクトに賛同する有志による演奏や詩の朗読などの発表があり、ひまわりを通じた全国とのつながりを実際に感じられる時間となりました。

「誰もが福島に住んでいて良かったと思えるまちになってもらいたいと思います。世の中に完全な人は一人もいない。助け助けられ老いていく。それを当たり前として次の世代に引き継がれていく世の中であることを願っています。その実現のために、今必要なことを実践していきたいと思います。」と、代表理事の大竹さんはおっしゃいます。

事務所1階のまちなか夢工房では購入金額の一部がルワンダの子どもたちへ給食を届けるための寄付になる食パン「夢詰麦(ゆめつむぎ)」や、ひまわり油「みんなの手」を使用した「みんなのせんべい」の販売などを行っています。ぜひ皆さんも、ひと休みがてら訪れてみてはいかがでしょうか？

令和4年度 チャレンジインターンシップ 活動成果報告会・閉講式を開催しました!



10月29日(土)に郡山市商工会議所にて、チャレンジインターンシップ活動成果報告会・閉講式を開催しました。

今年は「Action to 2030 きみのチカラがふくしまを創る」をスローガンに、29名のインターン生が活動に取り組みました。

報告会に先立ち、子ども若者ネット代表の鈴木綾氏を講師に迎え「インターン活動とSDGsを考える」をテーマに学びの場を設けました。開講式から閉講式当日までの中で学んだ復習という意味でも、改めてNPOとSDGsの関わりを考える良い機会となりました。

報告会では、会場、Zoomそれぞれで、インターン生が作成したスライドを使って成果報告を行いました。今年度は、当日参加ができなかったインターン生の発

表を事前に録画し、報告会で放映する新しい取り組みも行いました。報告では、①インターン先では、どんなことをしたか②インターン活動で、得たものや学んだことまた気づきなどはあったか③活動を終え、自分が得たものを今後どのように活かしていきたいかについて発表があり、活動での学びを改めて深く振り返る時間になりました。

発表では、「NPOについて新たな知見を得られた」「活動を通して視野や考え方が広がった」などの感想があり、今回のインターン活動が自分の将来や生き方を見つめるきっかけとなったのではないのでしょうか。

この活動で抱いた一人ひとりの想いが未来の福島を創っていくことを期待しています。

これまでのチャレンジインターンシップ参加者 その後

平成30年度(2018年)チャレンジインターンシップ参加者
田中 晴久 さん

回答者

【活動団体】特定非営利活動法人 市民活動支援組織NIVO
【現 在】会津美里町役場 政策財政課 政策企画係 職員



【当時の活動の様子】田中さん(左)

Q1 インターンシップの経験を振り返って、良かったと思うことはありますか?

地域の活動に参加する様々な方に出会えたことです。受け入れていただいたNPO法人の活動はコミュニティセンター(公民館)事業の運営であったため、実際に事業の企画・調整を行う法人の方に加え、その事業に参加する地域住民の方々、商店街の方々からお話を伺うことができ、自分の視野を広げられたと感じています。

Q2 今の職業についたきっかけは?

やはり、大学3年生の時に参加したチャレンジインターンシップだと思います。地域の方が企画し、公民館事業や地域の未来について考え、活動している様子を見て、NPO法人の活動支援をはじめとした様々な分野から、多面的に地域に関わることができる市町村職員になりたいと考えようになりました。

Q3 働いてみて気づいたことはありますか?

仕事は常に勉強だと感じています。採用時から今までの3年間、「NPO法人の設立認証等」の業務に携わっています。自分がチャレンジインターンシップで関心を持ったNPO法人関係の業務に携わることができ嬉しいですが、法人から寄せられる相談や書類の検査、財務諸表のチェックなど、知識がなければ進めることができない業務が多いので、日々参考書や法律書・条例集を片手に奮闘しています。

Q4 これからインターンシップをやってみようと思っている皆さんに一言!

チャレンジインターンシップでは、多様な事業を行っている多くのNPO法人の中から、自分の関心がある・学んでみたい分野を選ぶことができます。活動に参加したり、事業を見させてもらったりする経験は、必ず今後の進路選びや社会の見方の形成に生きてくるはずです。「福島県」という共通項を持って、地域のために活動するNPO法人の活動に触れる貴重な機会を、ぜひ活用してください!

チャレンジインターンシップ参加者の田中晴久さん(平成30年度参加)、穴戸孔哉さん(令和元年度参加)。お二人は現在、福島県内の行政・NPO法人で職員として活躍されています。学生時代にインターンシップ活動を経て感じたこと、そしてこれからインターンシップ活動に参加したいと考えている皆さんに向けての先輩からのアドバイスをいただきました!

令和元年度(2019年)チャレンジインターンシップ参加者
穴戸 孔哉 さん

回答者

【活動団体】特定非営利活動法人 元気になるう福島
【現 在】NPO法人 こども緊急サポートふくしま 職員



【当時の活動の様子】穴戸さん(左)

Q1 インターンシップの経験を振り返って、良かったと思うことはありますか?

生きていく上で、大切にしたい心や考え方を学べたことが良かったと思います。インターンシップでは、県内各地を訪れて、多くの方とお話ししました。どの方も自分を信じて、今を楽しんでいる方ばかりでした。このような心や考え方に触れたのが良かったと思います。

Q2 今の職業についたきっかけは?

大学生の時に世話になった方から紹介されたことがきっかけです。福島に貢献する仕事をしたいと思っていたところ、勧められました。子育て支援の分野に関わったことはなかったのですが、「地域の未来を担う子どもたちに関わる仕事も、ひとつの地域貢献ではないか」という言葉に背中を押されました。そして、今の職場の面接を受けて、今に至ります。

Q3 働いてみて気づいたことはありますか?

NPOは何でもやるということに気づきました。今の職場に入って、最初に任された大きな仕事は、福島市内の公園を親子向けに紹介する動画をつくることでした。職場のメイン業務とは直接関係が無いもので驚きましたが、逆にメイン業務以外の視点からも、職場の目標に近づくことを実施していくことが重要なのだなと思いました。

Q4 これからインターンシップをやってみようと思っている皆さんに一言!

NPOでのインターンシップは、心や考え方を変えることができます。「これが普通」「これが常識」に囚われない考え方を持つことができます。そして、新鮮な経験ができます。それらの経験はきっと、人生をより良くできるはずです!NPOでお会いしましょう!



NPO法にかかる 諸手続きの改正と チェックポイントに注目!!

「特定非営利活動促進法に関する一部変更について」

令和4年9月1日から「組合等登記令」の一部が改正・施行され、これまでNPO法人の設立の認証等においては、すべての事務所の所在地で登記が必要とされていたところ、**従たる事務所の所在地における登記が不要**となりました。この機会に、見落としがちな手続きについてチェックリストを用いて改めて振り返ってみましょう!

「法人運営のためのチェックで振り返ってみよう! その1」

法 務

定款変更があった場合には、認証申請が必要か、届出だけでよいかを把握し、適切に変更手続きを行っている。	☐ Yes・ ☐ No
役員に変更があった時(再任を含む)、所轄庁に役員変更などの届出書を提出している。	☐ Yes・ ☐ No
法務局への変更の登記を事由発生から2週間以内に行っている。	☐ Yes・ ☐ No
法務局への変更登記を行った場合は、毎回最新の履歴事項全部証明書を取得し事務所に備え置いている。	☐ Yes・ ☐ No
事務所を引っ越す場合は、定款変更が必要かどうか確認し、事務所の所在地の変更登記を期限内に行っている。	☐ Yes・ ☐ No

事業報告書等

事業報告書などは、定款に定める手続きを経て、毎事業年度終了後3か月以内に所轄庁に提出している。	☐ Yes・ ☐ No
事業報告書などに不備や誤りがあった場合、理事会・総会の議決を経て、所轄庁に再提出している。	☐ Yes・ ☐ No

定款運営

利益相反に当たる契約を締結する場合、所轄庁に特別代理人の選任請求をしたうえでやっている。	☐ Yes・ ☐ No
事務所に備え置くことが求められる書類(定款・役員名簿等)を備え置いている。	☐ Yes・ ☐ No
役員報酬規程等、法人運営に必要な規定を随時作成し、事務所に最新のものを備え置いている。	☐ Yes・ ☐ No
会員名簿を作成し、社員(正会員)数を把握すると共に、各事業年度の会費支払状況を記録している。	☐ Yes・ ☐ No

※上記の法人運営チェックリストは認定NPO法人アカツキ「NPO法人事務体制整備ノート」から一部加筆しご紹介しました。
なお、次の機会に「チェックリスト その2」をご紹介します。

詳細はホームページからご確認ください。
<https://aka-tsuki.org/>



令和4年度

ふくしま地域活動団体サポートセンター

講座予定

1 地域力UP!

～地域の魅力を活かし、
地域住民×NPO×行政×企業でオンリーワンなまちづくり～

活気に満ちた地域社会をつくっていくためには、行政や地方公共団体、市民およびNPO等の協働・連携による地域の活性化が重要です。
しかし、他業種との連携には様々な問題が生じることもあります。この講座では、同じ目標の達成に向かって進むために必要な考え方を、様々な事例を紹介しながら学んでいきます。地域力を上げて、自分たちの住む地域の魅力度をアップさせましょう!

- 講師：岡本 翔馬 氏
(認定特定非営利活動法人桜ライン311 代表理事)
- 開催日時：令和5年1月28日(土)14:00～16:00
- 開催場所：かしま交流センター
- 対象：福島県民 (NPO実務者または役員など)
- 定員：20名 ●参加費：無料

2 税務会計講座

NPO法人は、毎事業年度終了後3か月以内に事業報告書等の提出が義務付けられています。しかし、毎年決算の時期になると、会計について相談をされる団体が多く見られます。会計などの事業報告書は組織の活動を伝える最適なツールであり、正しい書類を作成することが団体の信頼獲得にもつながります。本講座では、事業報告に向けた実務向けの会計の知識を学びます!

- 講師：加藤 英夫 氏
(税理士法人さくら会計)
- 開催日時：令和5年2月8日(水)13:30～16:00
- 開催場所：アピオスペース 研修室
(〒965-0059 会津若松市インター西90番地)
- 対象：福島県民 (NPO実務者または役員など)
- 定員：20名 ●参加費：無料

3 SDGs活用講座

～SDGsゲームで楽しく遊ぼう!!～

最近企業や行政の掲げる目標にSDGsのマークがあったり、テレビやCMなどでもよく耳にするSDGs。皆さんは正しく理解できているでしょうか?
本講座では、カードゲームを用いて楽しみながらSDGsを学びます!SDGsを理解し、活用方法を学ぶことで地域課題の解決や自身の活動を考えるきっかけにしましょう!

- 講師：富田 直子 氏
(有限会社ウィルウィンド 代表取締役)
- 開催日時：令和5年2月25日(土)13:30～16:00
- 開催場所：マイタウン白河 (〒961-0905 白河市本町2)
- 対象：福島県民 (NPO実務者または役員など)
- 定員：20名 ●参加費：無料

準備を
お早めに!!

インボイス制度は令和5年10月1日からスタート!



インボイス制度とは?

仕入税額控除とは?

何をしたらいいの?

みんな登録しないとイケないの?

令和5年10月1日から、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)が導入されます!

簡単に言うと、生産や流通の各取引の段階で、二重、三重に税金がかかることをなくするための制度です。

インボイスを発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。登録は課税事業者が受けることができます。

登録を受けるかどうかは事業者の方の任意です! 免税事業者の方も、ご自身の事業実態に合わせて、インボイス発行事業者の登録を受けるかをご検討ください。

制度開始時にインボイス発行事業者となるためには、原則**令和5年3月31日までに登録申請が必要です!**

詳しくは国税庁HPをチェック! <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>



1月13日(金)、14日(土)*14:00～16:00に認定特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズでは「インボイス制度を巡る勉強会」が開催されます!参加費は500円(資料代)、会場は福島市市民活動サポートセンター(福島市大町4-15チェンバおおまち3階)、またはオンライン。ご興味のある方は団体までお問い合わせください。 ※両日同内容
お問い合わせ先 TEL:024-573-8310 E-mail:info@partners-npo.jp



光と風の工房



低カロリーで高たんぱく、その上カルシウムやイソフラボンなど、健康食としても注目されている豆腐。卸町にある「光と風の工房」の国産大豆を100%使用した豆腐は濃厚で口当たりがとってもなめらか。大豆の風味がしっかり感じられます。木綿豆腐、寄せ豆腐、ざる豆腐からお選びください。他にも、口の中に大豆の香りが広がって美味しいと評判の豆乳はヨーグルト状になっており、食べる豆乳として人気商品となっています。

- 木綿豆腐、寄せ豆腐、ざる豆腐 …… 各200円
- 豆 乳 …… 180円
- おから …… 30円

住所／福島市北矢野目金湍28-17 【営業時間】 9:00～16:00
TEL／024-553-6924 【定休日】 土・日曜日、祝日

カフェ&レストラン 「raku-raku」



伊達市保原町にあるNPO法人ボネールが運営するカフェ&レストラン「raku-raku」。

2種類から選べる週替わりランチは、メインの料理に、小鉢、サラダ、香の物、ご飯、みそ汁がセットになっています。他にも、じっくり煮込んだカレーランチもおすすめで、各メニューとも極久里コーヒーと手作りアイスクリームが付いた満足間違いなしの内容になっています。お店の味を気軽に楽しみたい方はテイクアウトをぜひどうぞ！

- 週替わりランチ (AorBランチ) …… 各1,000円
- カレーランチ …… 800円
※各メニューとも極久里コーヒーと手作りアイスクリーム付
- 持ち帰りお弁当 (AかBのメインまたはカレー) …… 600円

住所／伊達市保原町字鉄炮町13-7

TEL／024-563-3303

【営業時間】 当面の間 月～金 11:30～14:30
(ラストオーダー13:30)

【定休日】 毎週土・日曜日、祝日
(施設行事による臨時休業時あり)

助成金情報

チャレンジしてみよう！

NPO関連の助成金情報については
当センターのウェブサイトをご覧ください。
<https://f-saposen.jp/category/subsidy/>



◇学術・文化・芸術・スポーツ

公益財団法人福島県文化振興財団令和5年度助成事業

【支援元／公益財団法人福島県文化振興財団】

- 助成対象／県民の皆様の文化活動が活発になるよう、福島県内の文化団体等を対象
- 申込期限／2023年1月31日(火) ● 上限金額／1団体あたり最大10万円
- 参考URL／<https://www.fcp.or.jp/culture/grants-and-awards/zyosei.html#>

◇保健・医療又は福祉、子どもの健全育成

生活困窮者等支援民間団体活動助成事業助成(社会福祉振興助成事業)

【支援元／独立行政法人福祉医療機構NPOリソースセンター】

- 助成対象／コロナ禍の影響の長期化に伴い、孤独・孤立に陥る可能性の高い生活困窮者やひきこもり状態にある者、生活困窮家庭の子ども等に対する支援活動を実施する民間団体の取り組みを対象
- 申込期限／2023年1月24日(火) 15時 ● 上限金額／事業により異なる※詳細は下記URLをご確認ください。
- 参考URL／https://www.wam.go.jp/hp/r4hosei_wamjyosei/



ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741

E-mail saposen@f-npo.jp URL <https://f-saposen.jp/>

◆ 県内の認証 NPO 法人団体／923 団体

◆ 認定 NPO 法人団体／22 団体 ◆ 特例認定 NPO 法人団体／0 団体 2022 年 10 月 31 日現在

編集後記

冬の私の癒しは猫とともにコタツでまろくなる!! 【内山】
5回目コロナ接種完了!後は滋養食で冬を乗り切る!【齋藤(美)】
福袋も購入の段階から抽選の時代。試されている。【穴戸】
卯年。我が家の年男を全力で応援します! 【村松】
1/17は阪神・淡路大震災の日。防災への意識を高めねば!【歌川】
今年の目標:①早寝早起②腰痛を治す③少しは運動する【遠山】
年を取るにつれて1年が早く感じるのとはときめき不足らしい。【齋藤(宏)】
春に向けて、鮮やかな花いっぱいのお庭を作りたいです。【本田】
神社で買う開運コーヒー、今年もこれで良い一年に。【武田】